

2023
4月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第224号-①【基準日 2023年3月31日】



🌸 社長メッセージ



金融システム不安時でも慌てず平常心で

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。新年度に入りましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年度は入社式などもコロナ前のように対面で行われたようで、数年ぶりに通勤電車やオフィス街で期待に胸を膨らませた初々しい新社会人の集団を見かけると、ようやくコロナ禍も収束に向かいコロナ前の日常生活が徐々に戻ってきていると感じます。

さて、先月のマーケットですが、月初は中国経済の回復期待や米国の長期金利が低下したことによって世界株式市場は総じて上昇しましたが、3月10日に米シリコンバレー銀行(SVB)が破綻したことによって金融システム不安が広がり、世界的に株価が大きく調整しました。信用不安は欧州にも飛び火して、もともと経営不振だったクレディ・スイスの株価が暴落して破綻が懸念される中、各国の政府・中央銀行が迅速に対応した結果、月末には信用不安も一旦収まって株価は安値から反発上昇して1ヶ月を終えました。日本株市場についても米国での銀行破綻以降、年初から上昇していた銀行株を中心に大きく調整しましたが、月末には反発しました。為替相場については、金融システム不安が広がったことにより、利上げの継続よりも年後半の利下げをマーケットが意識し始めたことによって、ドル/円レートは円高方向に振れました。



そのような中で、ありがとうファンドは月間で+0.7%の上昇となりました。世界株はマイナス0.1%の下落となり、相対的にアウトパフォームいたしました。特に金融システム不安で株式市場が調整する中で金ETF(ゴールド)が買われて上昇したことがパフォーマンスに大きく寄与しました。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+1.7%の上昇となりました。

クオリティの高い企業に厳選投資

今後の見通しですが、一旦落ち着きを取り戻した金融システムですが、SVBの破綻の根本的な原因はインフレ抑制のための米国の急速な利上げが影響しているため、今後もインフレ退治の利上げが継続していけば、再燃する可能性は十分にあると考えられます。また、金融システム不安の高まりによる信用収縮は金融機関の貸出抑制につながり、企業の資金繰りの悪化や設備投資の減少などを招き、企業業績の悪化や景気後退に繋がっていく可能性も高まってくると考えられます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



FRBやECBなど各国の中央銀行は今後の利上げ方針を考える上で、金融システムの安定性の維持とインフレ抑制という2つの相反する課題に対処する必要があるため、今まで以上に難しい舵取りを求められるでしょう。

また、ウクライナ情勢についても戦争が長期化していく中、継続的な軍事支援負担が米国やNATO諸国では重荷になってきており、インフレと景気後退に苦しむ国民からの反発により国内政治リスクが高まりNATO加盟国間でのウクライナ支援に対する温度差も高まってきているので先行き不透明感が増してきています。その一方で米中対立も激しくなっているため地政学リスクについては十分に警戒する必要があると思われまます。引き続きインフレ、利上げ、景気後退、金融システム不安、そして地政学リスクの高まりに一喜一憂するボラティリティの高いマーケットを想定しております。



このような局面では、業績の悪い企業や有利子負債が多く自己資本比率の低い財務体質が脆弱な企業は信用リスクが高まって売られやすいので、今まで以上に企業業績や財務体質などクオリティの高さが問われる相場になり、そのような企業に厳選投資することがますます大切になってくると思われまます。また、金融危機や信用不安、地政学リスクなどでマーケットが暴落した際に『有事の金』として買われる金(ゴールド)への投資もリスクを抑制してポートフォリオの資産を守る役割として、一定割合保有しておく必要性が高まってくると思われまます。

金融システム不安時でも慌てず平常心で

今回のSVB破綻やクレディ・スイス問題による金融システム不安による下落のように、マーケットでは何々ショックと言われる暴落がしばしば、そして突然に起こってきまました。リーマンショックやコロナショックもそうでしたが、これらのショックは短期的には大きく下落しますが、マーケットが落ち着きを取り戻せば本質的な価値以上に下落していた資産は買い戻されて回復してきまました。

『金融危機はいつも違った顔で現れる』と言われていた通り、危機やショックの原因や理由は毎回違っていますが、今回の金融システム不安による調整も過去のショックと比べて決して特別なことではなく、長期で資産運用をしていく過程の中では起こりうる出来事でありまます。

長期で資産運用を続ける限り、このような突然の嵐を避けることは難しいですが、嵐はいつか止むものです。大事なことは、嵐の中で難破したり、沈没したりしないで生き残ることです。過去の歴史からも明らかのように大きく下落して本質的な価値から離れた価格になっているものは嵐がやめば回復するものです。相場が激しく上下動しているこのような局面では、当初の運用計画・運用方針通りに投資を継続することが資産運用ではとても大切であると思われまます。

弊社では、今後も長期的な時間軸で物事を捉えて右往左往せずに、短期的な相場動向に一喜一憂することなく、世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散・厳選投資で基本に忠実に資産運用の王道をブレずに歩んで参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	25,179円	+2.6%
3年	24,042円	+7.4%
5年	21,273円	+21.4%
10年	17,537円	+47.3%
初回(2004年10月)から	12,633円	+104.4%



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

<ご参考>毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万3074円
3年	36万円	38万6686円
5年	60万円	72万8377円
10年	120万円	176万7062円
初回(2004年10月)から	222万円	453万7957円

2023年3月31日現在(基準価額:25,824円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第19期半期運用報告会	4月8日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期半期運用報告会	4月9日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期半期運用報告会	4月16日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第19期半期運用報告会	4月22日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

🌸 住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。

変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

🌸 「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

ご家族・ご友人

39 紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!

3/9 START!

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。



クレジットカードの落とし穴～リボ払いの恐ろしさ～

みなさんは現金派ですか。それともキャッシュレス派ですか。
コロナ禍においてキャッシュレス決済をする機会が一段と増えたように思います。ポイント還元キャンペーン等もあり、現金よりお得なイメージがありますよね。
今回のテーマはキャッシュレス決済の代表格であるクレジットカードの恐ろしい落とし穴『リボ払い』についてです。



はじめにクレジットカードには支払方法が3つあります。

- ①1度に全部返済する一括払い
- ②支払回数を決めて複数回に分けて返済する分割払い
- ③毎月一定の金額で返済するリボ払い です。

『リボ払い（正式名称：リボルビング払い）』は利用した金額にかかわらず、支払額を毎月一定にすることができます。例えば支払金額を毎月1万円と設定したら、10万使おうが50万使おうが毎月の支払いは1万円という仕組みです。「月々の負担を軽くできる」「支払額が一定なので家計管理しやすい」といった謳い文句でテレビCMやダイレクトメールで宣伝されているのをご覧になった方も多いと思います。

しかし、リボ払いを利用するには所定のリボ手数料がかかります。この手数料はカード会社によっても違いますが年率およそ15%～18%。これが利用残高に対してかかります。この利率は消費者金融と同じくらいの利率です。

リボ払いが恐ろしい理由の一つとして借金残高の増加に気づきにくいことが挙げられます。一括払いや分割払いの場合、毎月の請求額が利用額によって異なるため、「今月は使いすぎちゃったな・・・」と気づきますよね。しかしリボ払いは毎月の返済額が一定のため、無計画に買い物をしてしまい残高が膨らんで借金地獄に陥るケースが多いのです。

例えば「支払残高30万円・金利15%・借入期間30日」の場合
 $30万 \times 15\% \times 30日 \div 365日$ で利息は約3,700円です。一見返済できそうと思ってしまいがちですが、無計画に残高を増やしてしまい借入期間が延びていくと、毎月の返済では利息部分しか返済できず、元本が減らないために返済が長期化します。

そもそもクレジットカードの「クレジット」は英語で「信用」という意味です。私たちはカード会社の審査を経たうえで信用を獲得し、その信用と引き換えに後払いで買い物ができる権利を得るという仕組みになっています。つまり無意識のうちに、無利子でカード会社から借金をしているのです。よって返済が遅れたり無計画に使いすぎたりすると信用を失い、カード会社は借金取り化し借金地獄がはじまります。

近年「リボ払い＝悪」というイメージがだいが定着してきたように思いますが、金融機関はキャッシュバックやポイント還元など魅力的な特典をつけて様々な角度からリボ払いを利用させようとしてきます。金融機関にとってはリボ払いの手数料が大きな収入源となっているため、色んなサービスを利用させてでも顧客を獲得したいのでしょう。
クレジットカードの本質は借金であること、「うまい話には裏がある」ことを忘れずに上手にクレジットカードを利用しましょう。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

文庫版 **バビロンの大富豪** 文庫 - 2021/5/15
ジョージ・S・クレイソン (著), 大島 豊 (翻訳)

昨今、NISA や iDeCo など個人の資産形成をサポートするために税制優遇制度や年金制度改正が行われており、以前よりも若い世代にも資産形成が浸透してきている一方で、未だに家計の金融資産約 2000 兆円の半分以上は預貯金に眠っているのが現状で金融投資教育の必要性が叫ばれています。

そこで、今月は金融投資教育に関する本として、皆さんにまず最初に読んでもらいたいおすすめの本1冊をご紹介します。

本書は、古代都市バビロンが話の舞台になっていますが、時代を超えて現代にも通用する内容で、一から資産を形成していく基本原則をわかりやすく学ぶことができる名著です。



～稼いだものは、すべてその一部を自分のものとして取っておく。～

この財産を築くための不滅の「原則」をしっかりと守り、「黄金の知恵」を活かしていくことが人生の成功につながっていくと記されています。また、単にお金を増やすにはどうすればよいかということだけでなく、借金をすることはどういうことなのかや労働の喜びを知ることは幸福につながるなど人生の指針と勇気も与えてくれる内容で自己啓発、蓄財哲学の本としてベストセラーになっています。壁にぶつかった時や、うまくいかなくて悩んだ時や困った時にも思い出して読み返してもらいたい本です。

老若男女に読んで頂きたい本ですが、特にこの春から新社会人になって自立していく方には是非読んで頂きたい1冊です。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落日座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落日を中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2023年 4月分	3月3日(金)	3月27日(月)	4月6日(木)	4月14日(金)	4月18日(火)
2023年 5月分	4月5日(水)	4月21日(金)	5月8日(月)	5月16日(火)	5月18日(木)
2023年 6月分	5月1日(月)	5月25日(木)	6月6日(火)	6月14日(水)	6月16日(金)
2023年 7月分	6月5日(月)	6月26日(月)	7月6日(木)	7月14日(金)	7月19日(水)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

4月7日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク・ルクセンブルグ・ロンドン	4月10日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルグ・ロンドン・アイルランド
5月1日(月)	労働者の日/銀行休業日/メーデー	ルクセンブルグ/ロンドン/アイルランド	5月8日(月)	チャールズ国王戴冠式	ロンドン
5月9日(火)	ヨーロッパの日	ルクセンブルグ	5月18日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルグ
5月29日(月)	戦没者記念日/聖霊降臨祭/銀行休業日	ニューヨーク/ルクセンブルグ/ロンドン			

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.45% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



REFINITIV
LIPPER
FUND
AWARDS
2022 WINNER
JAPAN



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



2023年4月吉日
ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷俊介

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」に係る 弊社の実績について(2023年3月末基準)

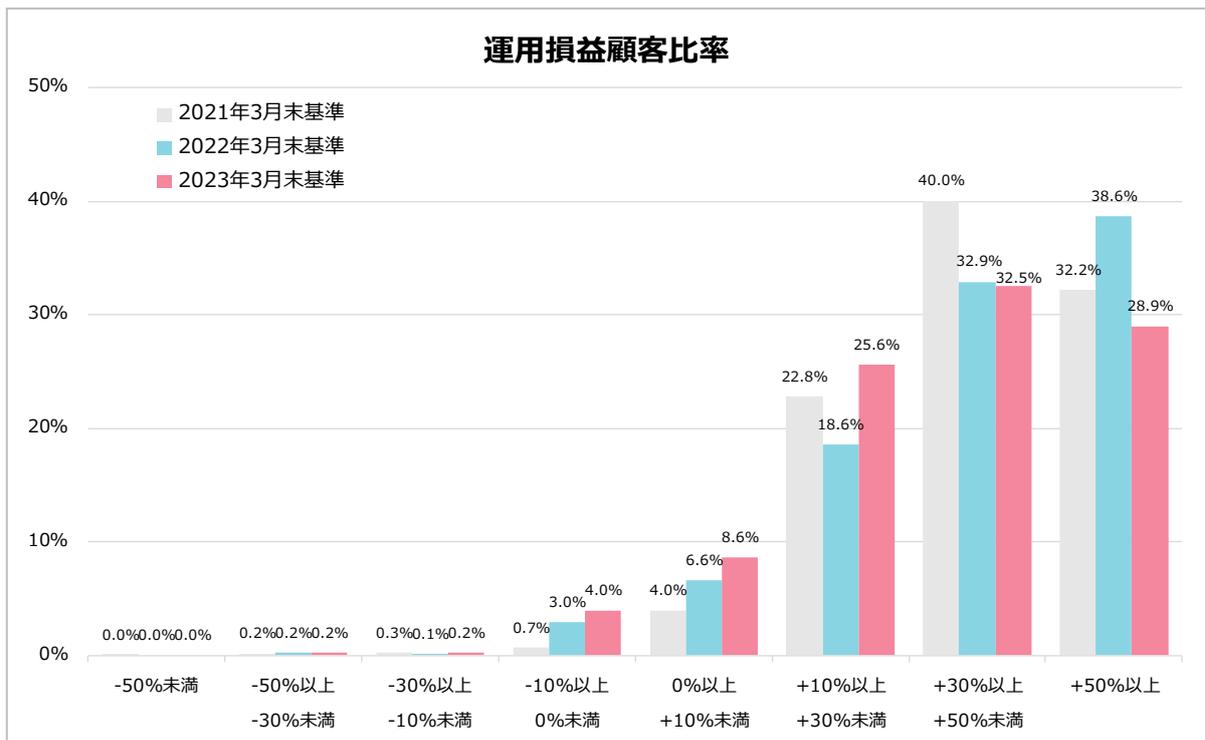
金融庁が公表を行った「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について、弊社の実績(2023年3月末基準)をご報告申し上げます。

※共通 KPI の定義・算出方法は金融庁ホームページをご参照ください。(https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf)

■投資信託の運用損益別顧客比率

お客様にご購入いただいたありがとうファンドの運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。ありがとうファンドを購入されて資産運用されているお客様のうち、**95.6%の方が運用損益でプラス**となっております。2023年3月末、2022年3月末、2021年3月末の実績を併記しています。

運用損益がプラスの顧客の割合	
2023年3月末基準	95.6%
2022年3月末基準	96.7%
2021年3月末基準	98.9%



※2023年3月末時点の投信残高に対するトータルリターンで算出。2004年9月1日のありがとうファンド設定日からの2023年3月末までの全期間を対象。

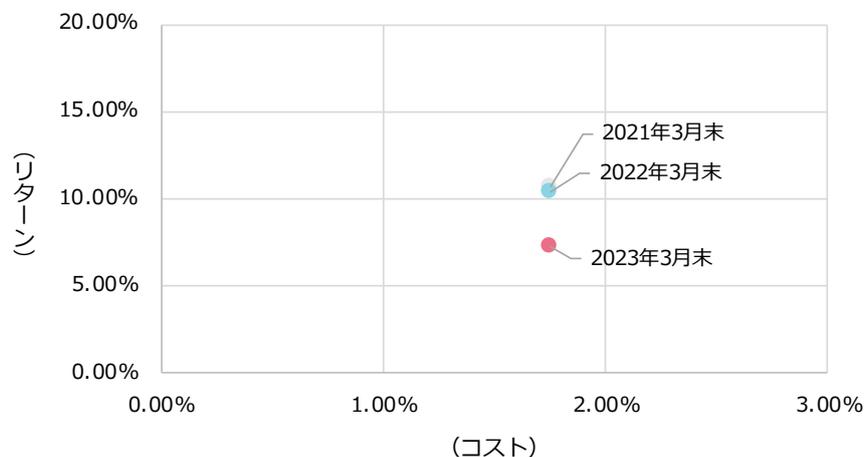
※投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出した各損益率の分布。対象のお客様全体を100%として、それぞれの運用損益に該当する顧客数比率をグラフ化。

■投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

お客様にご購入いただいたありがとうございますファンドのコストに対するリターンおよびリスクに対するリターンを公表しております。(弊社はありがとうファンド 1 本のため残高加重平均値は同一の値となります)

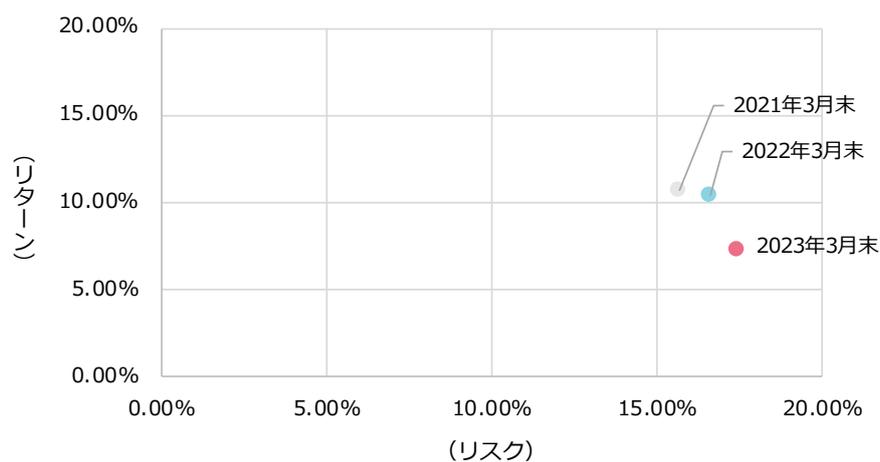
(参考)コスト・リターン／リスク・リターンの実績推移

コスト・リターン



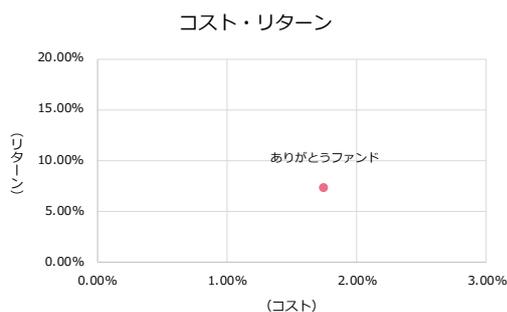
	コスト	リターン
2023年3月末	1.75%	7.26%
2022年3月末	1.75%	10.36%
2021年3月末	1.75%	10.65%

リスク・リターン

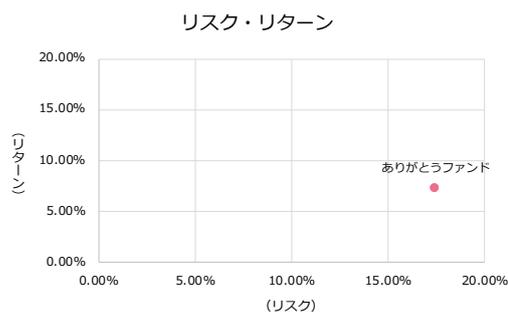


	リスク	リターン
2023年3月末	17.49%	7.26%
2022年3月末	16.63%	10.36%
2021年3月末	15.68%	10.65%

【2023年3月末】



銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.75%	7.26%
残高加重平均値	1.75%	7.26%

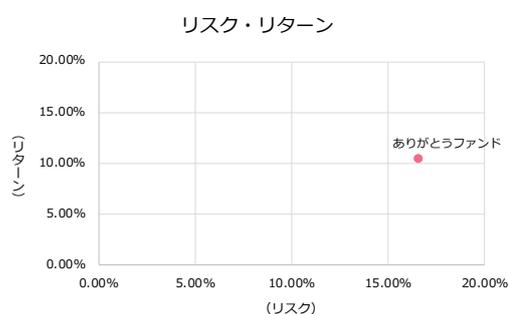


銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	17.49%	7.26%
残高加重平均値	17.49%	7.26%

【2022年3月末】

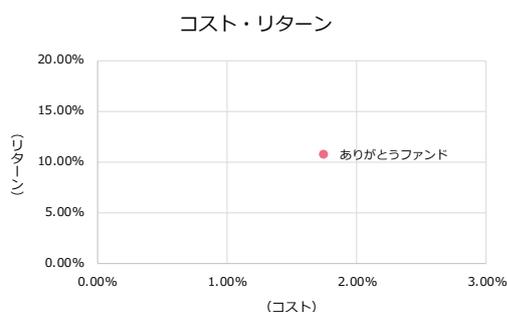


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.75%	10.36%
残高加重平均値	1.75%	10.36%

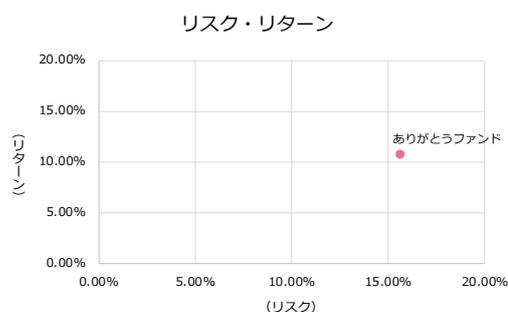


銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	16.63%	10.36%
残高加重平均値	16.63%	10.36%

【2021年3月末】



銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.75%	10.65%
残高加重平均値	1.75%	10.65%



銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	15.68%	10.65%
残高加重平均値	15.68%	10.65%

※リターン:過去5年間の年率リターン(年率換算)

※リスク:過去5年間の年率リスク(年率換算)

※コスト:目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の上限値としております。販売手数料はかかりません。

<本件に関するお問合せ>
 ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部
 フリーコール:0800-888-3900 (8:30-17:30 土日祝・年末年始を除く)

「ありがとうファンド」 第19期半期運用報告会

ありがとうファンド半期運用報告会を全国で開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで2月末に第19期中間決算を迎えました。つきましては、ありがとうファンドの第19期半期運用報告会を3月より全国6都市で開催いたします！

第19期の半期運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきますので、是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2023年3月26日(日)

午前の部 10:00～12:00 午後の部 13:30～15:30

ありがとう投信本社3F ※午前・午後で同じ内容になります。

仙台

2023年4月2日(日) 13:30～15:30

仙都会館7F-A

大阪

2023年4月8日(土) 13:30～15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室2

名古屋

2023年4月9日(日) 13:30～15:30

ウイंकあいち(愛知県産業労働センター) 会議室1206

福岡

2023年4月16日(日) 13:30～15:30

アクロス福岡602

札幌

2023年4月22日(土) 13:30～15:30

かでの2.7(北海道立道民活動振興センター)920 会議室



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL:<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール:0800-888-3900

39 ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

